

## 情報公開内容

- 1 課題名 : Balloon-occluded transarterial chemoembolization (B-TACE) for hepatocellular carcinoma (肝細胞癌に対するバルーン閉塞下肝動脈化学塞栓療法 (B-TACE) の検討)

### 本研究の目的

肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓療法 (TACE) は有効性及び安全性が確立された治療法ですが、近年これをバルーン閉塞下に行うバルーン閉塞下肝動脈化学塞栓療法 (B-TACE) が更に治療効果を高めるのではないかと期待されています。しかし、新しい治療方法であるため、治療効果や合併症などについては、まとまった報告がなく詳細な検討が必要です。本研究の目的は、B-TACE における肝および肝腫瘍内の血行動態を画像的に解析し、治療効果や合併症等との関連性について検討することです。これにより、B-TACE の有効性及び安全性及び適応の確立に寄与できると考えています。

### 本研究の対象

2013年4月から2013年9月の間で、広島大学病院にて肝細胞癌に対しB-TACEを受けた患者26名(男性14名、女性12名)。

### 本研究の意義

本研究により B-TACE における肝および肝腫瘍内の血行動態、治療効果や合併症等を解明できれば、今後の肝細胞癌に対する治療戦略を構築していくうえで大変重要と考えます。

### 研究の方法

本研究ではすでに行われている画像所見を解析し、B-TACE における血行動態、治療効果や合併症等を検討します。カルテを調べて調査することが主な調査方法です。調査項目は、患者の性別、年齢、採血データ、画像所見(血管造影、CT など)、臨床情報(既往歴、現病歴、合併症、臨床経過など)です。

### 個人情報保護の方法

- (1) 対象患者さんのカルテ、画像に記載された個人情報はすべて匿名化した上で研究に使用します。
- (2) 学会誌や学会での発表等、調査結果を公表する際、個人情報は一切公表しません。
- (3) この研究で収集したすべての情報は、この研究の目的以外では使用いたしません。
- (4) データは外部と独立したコンピューターで管理し、パスワードによるログイン機能の付加、コンピューターをセキュリティの厳重な部屋に保管します。
- (5) 収集した患者さんのデータは、研究公表後データはすべてコンピューター上から削除、書類はシュレッダー等で処理した上で廃棄します。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療などに不利益が生ずることはありません。

問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先

広島大学病院 放射線診断科

研究責任者(担当者): 助教 吉松梨香

連絡先電話番号: 082-257-5257